

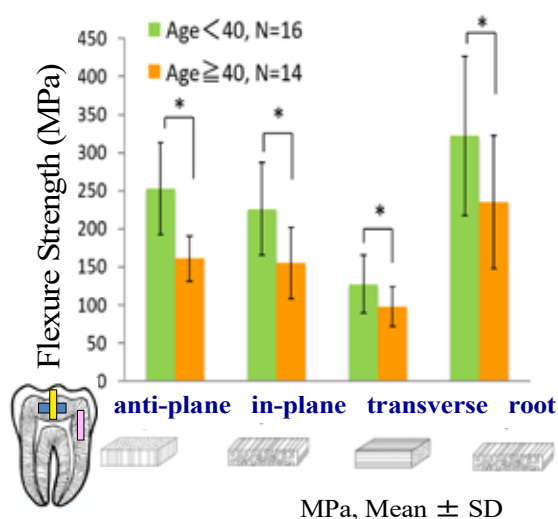
ファイバー材料を用いた 信頼性の高い接着性支台築造法の開発



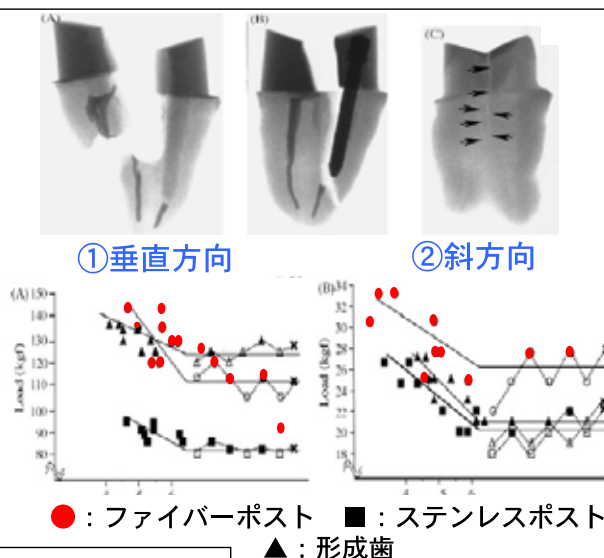
象牙質は明らかな異方性を有しており、年齢とともに強度が低下することが修復歯の耐久性に影響を及ぼしている。失活歯の歯根破折を回避するために、ファイバー材料を用いた支台築造の有用性を検討したところ、特に歯根象牙質と修復材料との接着

が維持された場合には、ファイバーポストによって修復歯の耐久性が向上することが明らかとなった。また、ファイバー材料を最大限に配置する方法として、CAD/CAMファイバーレジンディスクを加工したポストコアを新たな支台築造法として提案した。

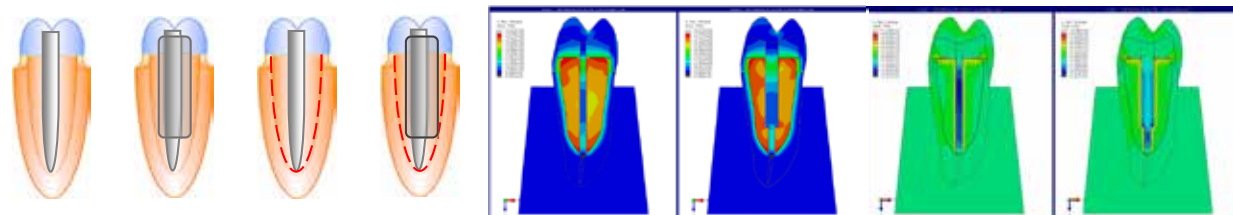
加齢と異方性が象牙質の強度に影響



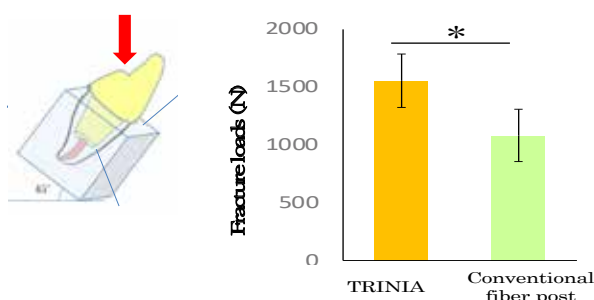
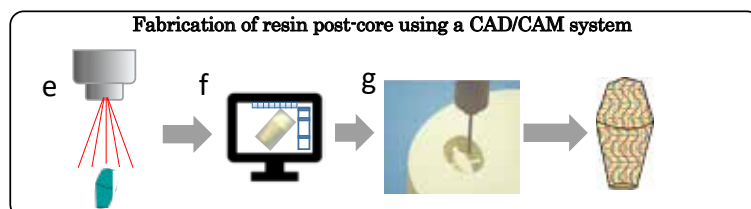
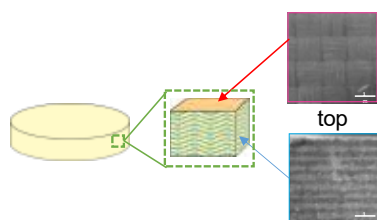
ファイバーポストは修復歯の耐久性向上に寄与



ファイバーポストの歯根象牙質への接着が応力集中に影響



CAD/CAMファイバーポストによる耐久性に優れた支台築造



Dental Materials 2006, 2008, 2015, 2020
Journal of Endodontics 2008
Dental Materials Journal 2014, 2019
Scientific Reports 2016
Series on Biomechanics 2020
(林 美加子 記)